

福井県一乗谷朝倉氏遺跡出土品 保存修理事業概要

【事業目的】

“一乗谷朝倉氏遺跡出土品”には、土の中に長い年月埋もれていた間に腐食や劣化が進行し、非常に脆く形を保つことが困難なものが数多くあります。本事業は、これらの出土品について、腐食・劣化の原因となる要因を取り除いたり、合成樹脂を含浸して強化したりすることによって、公開・活用しやすくすることを目的とします。

また、出土品を納める保管箱を製作することで、温湿度管理や運搬時の安定性の向上を図ります。

【全体の事業期間】

第1期保存修理事業：平成20年度～令和3年度

第2期保存修理事業：令和4年度～

【事業体制】

本事業は、高度な技術と豊富な経験を持っている専門業者に保存修理を委託します。なお、修理作業の各工程において、文化庁と緊密に協議を行いながら慎重に進めます。

【令和7年度総事業費および補助金額、収入先明細】

総事業費：5,998,896円

補助金額：2,999,000円（国庫補助）

【令和7年度修理内容の概要】

令和7年度は、越前焼4件、輸入陶磁器6件の計10件について保存修理を実施。



越前焼鉢



越前焼鉢



その他越前焼



輸入陶磁器白磁皿



輸入陶磁器白磁皿



輸入陶磁器白磁杯

【過年度の修理成果】：越前焼壺

※令和6年度保存修理事業

修理前



修理前の越前焼壺

修理前の越前焼壺は、接着剤も劣化しており非常にもろい状態でした。

修理



解体後の越前焼壺



修理後の越前焼壺

越前焼壺は一度解体し、古い接着剤を除去したうえで、再接合を行いました。欠損部も合成樹脂で補填し、形状の復元も行いました。

公開・活用



基本展示室

保存修理を終えた出土品は、基本展示室や特別展示室で公開します。



本事業は、文化庁美術工芸品重要文化財修理事業国庫補助金の交付を受けて実施されています。
Supported by the Agency for Cultural Affairs. Government of Japan in the fiscal 2025